

【第4回】肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

●第4回肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- ・実施日：平成28年10月20日(月)15:40～17:00
- ・場所：大洲市役所 別館3階 第1会議室
- ・出席者：大洲市長、西予市副市長、伊予市長、内子町長、砥部町副町長、西予市消防本部消防長、松山地方気象台長、愛媛県(中予地方局 建設部長、南予地方局 八幡浜支局室長、大洲土木事務所長、西予土木事務所長) 国土交通省四国地方整備局(大洲河川国道事務所長、山鳥坂ダム工事事務所長、野村ダム管理所長) 【オブザーバー】(愛媛県土木部長、四国地方整備局河川計画課長)
- ・事務局：大洲河川国道事務所、大洲土木事務所

●開催状況



●構成員発言要旨

- ・ 県管理河川が多く、水位観測所は少ないため洪水の把握が課題となっている(大洲市長)
- ・ 取組方針は5カ年の短期的な目標を示したものだが、中長期的な見通しも含めて議論をしてもらいたい。(大洲市長)
- ・ 河川改修は行っているが、河床が高くなり洪水被害が懸念される箇所もある。本協議会でこれらの課題も議論してもらいたい。(西予市副市長)
- ・ 昨今はゲリラ豪雨のように、いつどこで豪雨が発生するかわからない。住民の避難に加えて、避難行動が必要となる場面を少なくする対策(ハード対策)に取り組む必要がある。(伊予市長)
- ・ 現在、中山川沿いにある避難所の改修を予定している。改修にあたっては堤防の嵩上げ等が必要となることが想定されることから、今後の検討をお願いしたい。(内子町長)
- ・ 砥部町はもともと豪雨災害の少ないところである。本協議会に参加し、水害等に対する危機管理意識を高めていきたい。(砥部町副町長)
- ・ 想定最大規模の洪水に対して、どのような情報提供できるか、このような時の情報提供の重みを感じているところ。今後も情報提供については、できる限り協力していきたい。(松山地方気象台長)

●テレビ・新聞等への取材状況

- ・ テレビ：2社(NHK松山、ケーブルネットワーク西瀬戸)
- ・ 新聞：3社(愛媛新聞、読売新聞、朝日新聞)